



friendship force
WESTERN TOKYO

平成29年12月号

第26号

1

米国 グレイターオーランド渡航



サンフォード市庁舎前で

オーランド渡航 (11月6～13日)

AC: 鳥居典子

羽田出発時から、事故渋滞で何人かが集合時間に間に合わず危ぶまれたけれど、シカゴでの乗り継ぎもスムーズにいき、17時間もの飛行時間にも疲れを見せずいよいよグレイターオーランドとの交流の始まりです。痛々しいハリケーンの爪跡もあちこちに見られ、その激しさに驚かされました。オーランドは、オークランドという名前かと間違ふほどおおきなオーク(樫の木)が、町中にあり、またそれにスパニッシュモスが絡まっているのが印象的でした。前半はGive Kids The World Village、古いSanfordの町の見学などの団体行動、後半は各々のホストとの自由行動で、教会、マーケット、ナサ、ディズニーなどステイを満喫しました。お天気にも恵まれ、思っていたよりも暑いくらいでした。オーランドの会員の方々のご配慮で、素晴らしい交流を深めることができました。

素晴らしかった交流

石井 健二

ホスト、Dipboye夫妻は、受入れ初めて、社会・政治への関心も旺盛で、ドッグレースで活躍した大型犬と暮らす素敵なカップルでした。ゴルフ場に面した住まいで、時に知人・友人も交え、様々な話題で歓談しました。団体行動の初日（7日）は、公営の公園の一角でマッチング、心尽くしのサラダでランチ、続いて、これぞフロリダの豪邸が湖岸に点在する湖巡りを楽しんだあと、至宝のガラス工芸品、室内装飾など収蔵するモース美術館を見学しました。



公園でマッチング

Give Kids The World Village & Disney Springs

佐藤 薫

2日目はアメリカのボランティア精神の懐の深さを大変感じられる訪問でした。“Give Kids The World Village” は末期の病気の子供と家族の為の施設です。家族に提供される家、劇場、レストラン、各遊技施設、椅子の一つに至るまで子供目線で作られており、我々が見ても楽しいところでした（子供たちはディズニーワールドへ行っていたようであまり会えませんでした）。企業と個人の寄付で成立しているとの話は驚きでした。この日は、その後Disney Springsでのショッピング。個人的には気球に乗れて広い世界が見え、楽しかったです。



Give Kids The World Village

オーランドクラブの優しさを満喫

工藤 澄子

3日目は太陽がまぶしい。セントジョンズ川で1800年代後半、パン、砂糖、ミネラルウォーター、オレンジなど物資の運送で財をなした開拓者の邸宅跡、デバリーホールを見学、当時の生活の様子を知りました。お昼はリスがいっぱいの公園でバーベキューピクニック。数多く点在する湖は水門が閉じられる前はマナティーも見られたとか。2時過ぎにサンフォードに移動、市発展の歴史、市政の現状の説明を受けた後、市街を市手配のバスで廻りました。夕方、ミュージシャン演奏もあったストリートスープコンテストに参加、一日オーランドクラブの優しさに触れました。



St. Johns 川沿いの記念館で (DeBary Hall)

盛り上がったピザパーティー

稲垣 朋子

4日目はランチ持参でLeu Garden, Leu House Museumを訪問。オランダが誇るこのガーデンには40種類以上の植物が自然豊かに育てられ、広大な敷地内を2時間以上たっぷりと散策。ハリケーンの大きなダメージで倒れた木々からも力強く芽を出し美しい花々を咲かせていました。

夕方5時からDanさん宅でピザパーティー。美味しいピザと飲み物を頂きながらいつの間にか歌にゲームにと大いに盛り上がり、ホストとアンバサダーとの一体感がさらに深まったことが印象的でした。



Leu Garden (ルーガーデン)

フリーデー、エプコットセンター

鈴木 澄子

5日目はフリーデー。私達（稲垣、鈴木）は高石さんとホストのエレイヌさんにエプコットセンターにつれて行って頂きました。いろいろなアトラクションに乗り、次に各国のパビリオンを見て、最後の花火まで一日楽しく過ごしました。ソアリン・アラウンド・ザ・ワールドという人気のアトラクションでは鳥になって大空から世界の名所を訪問。あっという間の世界一周。スリリングな飛行になんともいえぬ爽快感を味わうことができました。



エプコットセンター

歓送会

榎川 由紀子

交流の最終日歓送会は緑濃いゴルフ場Deer Runの広間に総勢約60人の着席ビュッフェでした。入口にFFロゴのロールスタンド、円卓上に木製のクラブ旗と初日に撮ったH&Aの写真が額装して置かれていて心憎いばかり。6時過ぎ開宴、双方のコーディネータ、会長の簡潔な挨拶と乾杯の後アンバサダー・ファーストで立派な食事が続きました。ショウタイムの我々は練習不足を気合で補って熱演、彼等の次期会長はギターでOldiesを披露。"You are my sunshine"は全員で大合唱になりました。

HCスーザンさんの「会員82名の内60人もの協力で交換が成功した」とのスピーチに感銘を受けました。本当に良く組織された受入体制に称賛と感謝あるのみです。翌日はホテルに移動して、"Beautiful land (Orland)"に別れを告げる。有難う。さようなら。2019年東京で再会しましょう！



歓送会

ストップオーバーのHCをして

HC: 今村 佐知子

10月19日から22日迄カルフォルニア州サクラメントクラブの18人を武蔵野目黒クラブとの共同で受け入れました。ACのジョージは元立川基地で勤務していた医者。リーダーシップ溢れるACの下ゲストは皆FFの理念を理解していてホストと楽しい交流が出来たようです。今回はパーティなどは無く行程は全てホストに任せられました。ホストの方々のオリジナリティー溢れる温かいもてなしに感謝いたします。



一竹美術館で

初めての受入

菊池 美天

今まで様々な国での温かいおもてなしや経験をさせて頂き、そのご恩返しをしたく、受け入れをしました。一人では不安でしたが、友人や石井さんにお手伝い頂き、安心しました。高垣さんからディナーパーティーのお誘い頂き、台風の心配をしていたジュディーさんは3日ぶりに友人に再会でき、うれしそうだったので、私も嬉しかったです。



高垣さん宅で会食

我が家での交流

市川 良美

我が家へはモニカ、クリスという70歳代のお二人のご婦人がいらっしゃいました。お会いするまでは高齢だしお疲れだろうと心配しましたが、高齢者とは思えぬ立ち居振る舞いにびっくりするほど。連日の雨で外出はままならず。台風が近づいていたためクリスさんは1日早い帰国となってしまいました。交流は専ら室内で。You Tubeで60年代の曲を流しては、夜の近所迷惑も考えずに良く歌いました。ビーズ、ビートルズ、ABBA・・・同じ年代だから言葉は通じなくても歌だけでこんなに気持ちが通じるのかと感動しました。土曜日は孫も来宅し折り紙細工をしました。折り紙は既に岐阜で経験したということで、ブックマークの人形作りを楽しんでいました。



折り紙で交流

長雨にたたられ予定が狂いっぱなしの受入れでしたが、それゆえお互いの気持ちを一層深めることができたかなと思っています。受入れのたびアンバサダーの気持ちの大らかさ温かさをいただき、今回も安堵と共に温もりの余韻に浸っています。

関東ブロック会議

山本文

2017年7月1日（土）女子栄養大学で、東京クラブ主催により関東ブロック会議が開催されました。参加者は、総数47名、東京クラブ15名、埼玉クラブ12名、Mt富士・山梨クラブ8名、西東京クラブ7名、初参加の武蔵野三鷹クラブ4名。今年度より、東京クラブ田中裕海会長、西東京クラブ高垣孝会長への会長交代がありました。FFI、FFJ、各クラブの活動報告、近況報告の中で、特にストップオーバーの内容、ホスト費に関し、今後の検討が必要との意見が多く聞かれました。会議終了後、懇親会が同大学「松柏軒」で催されました。次回主催はMt富士・山梨クラブです。



西東京クラブ活動報告

FFI創立40周年および町田市政功労表彰記念パーティー

竹田 敏子

FFI創立40周年およびFF西東京クラブ町田市政功労表彰記念パーティーは7月30日、つくし野センターで開催されました。第一部の式典は、高垣会長の開会の挨拶とFFI及び西東京クラブ創立28周年の簡単な歴史紹介の後、町田市より政策経営部長小嶋達也様、市議員大西宜也様の御祝辞を頂きました。二部の親睦パーティーは、来賓、つくし野在住の見学者や他のゲスト等8人、会員及びその家族（10歳から3歳までのお孫さん8人含む）、元会員や日頃出席されない会員等約60名の参加者で大変盛況でした。キッズコーナーは今村さん指導の下、子供達は塗り絵、お手玉、けん玉、簡単な英語の勉強も楽しみ、市川さんのお孫さんの素晴らし創作折紙にはびっくり！ゲストや見学者には石井嗣代さんからFFの紹介。カフェコーナーには、会員持寄りのお菓子や飲み物を用意しました。最後に全員でFFの歌を歌い、石井前会長の閉会の挨拶でパーティーは終了しました。



佐原顧問挨拶



歓談

代表者会議報告

高垣 幸子

全体会議に先立ち、10時から代表者会議が開かれました。特に興味深かったのは、FFI理事の大西氏の報告でした。簡単に紹介いたしますと、経費削減のためFFI事務所を閉鎖しホームオフィスにしたこと、財政状況は赤字を脱出したが、各国のFFメンバーの高齢化や不安定な政治情勢など不安材料も多いことなど、印象的でした。各クラブの報告に代わり、4つのブロックの代表がまとめて報告するなど、効率の良い内容の濃い2時間の会議となりました。



代表者会議

全体会議

石井 嗣代

日本大会は10月1日、25クラブから211名が参加して設立30周年を迎える郡山クラブ主催のもと、郡山ビューホテルで行われました。午後からは全体会で、郡山市長、品川氏より猪苗代湖からの水路が大きく郡山を発展させた様子が話されました。FFI本部のマシュー・ニデックさんのスピーチの後は実行委員長の間さんからアンケートの詳細な報告がなされ、クラブの活動の現状が良くわかり、大変参考になりました。休憩後は札幌クラブ、小泉さんのスピーチ、愛知クラブの稲葉さんから英語研修についての感想、熊本地震のその後を早田さんが報告、15:50からは20のグループに分かれてグループ討議をしました。懇親会は17:30から和やかに行われ、素晴らしい郡山クラブ合唱部の合唱を聞かせて頂きました。



中山 郡山クラブ会長挨拶

大内宿・会津若松市内歴史散策

菅沼 益子

最初の見学地である大内宿へ。茅葺屋根の民家が軒を連ね、江戸時代の宿場町の雰囲気になり、名物の長ネギ1本を箸代わりに食べるねぎ蕎麦に挑戦したり、手作りの郷土玩具を楽しみました。美しい鶴ヶ城を見学。NHKのプラタモリでも紹介された六角三層、二重螺旋のスロープで有名な「さざえ堂」も体験してきましたが、未だに構造は理解できません。紅葉には時期尚早でしたが、変化に富んだ楽しいバスツアーでした。



大内宿訪問

ロシア渡航（新潟クラブ、7/18～28）に参加して

富長 健治

ホストは、サーシャとジーマの現役の若夫妻でした。都市に住む普通の勤め人は、週日は国営のアパート住まい、週末には別荘（ダーチャ）にて過ごす人が多いですが、彼等もその典型で約80m²のアパートの2室総てを私達に提供し、その間彼等は居室のソファベッドで生活していました。普段の生活は、東京で言えば 新大久保当たりのマンションに住み、丸の内に通う現役サラリーマンを想像するとそれに近く、忙しい中大変良くやって戴いたと感謝、感謝です。



歓送会クルージングで

赤の広場・クレムリン地区は勿論、トレチャコフ美術館の他チャイコフスキーが“白鳥の湖”を構想した公園やロシアの英雄アレクサンドルネフスキー縁のペレスラブリも思い出深い場所でした。また、週末はサーシャ夫妻とモスクワ郊外の別荘で過ごし、バーニャ（ロシア風家庭サウナ）やバーベキューパーティーも経験し最高の旅でした。

トルコ・カンカヤクラブ受入

HC: 山本文

期間：2018年5月14日～21日

受け入れ人数：15名（サブHC: 高垣幸子）

トルコ受入は西東京クラブにとって、アジアでもなく、欧米でもない地域からの初めての受入になります。また、新しい発見がありそうです。どうぞ、ご期待ください。カンカヤクラブはトルコの首都アンカラの近くのクラブのようです。いつものように会員みんなで、できる範囲で、それぞれホスト、デイホスト、ディナーホストに参加し、交流を楽しみましょう。カンカヤクラブは西東京クラブ受入の後、5月21日～28日は札幌クラブ受入になります。



新人紹介： 齊藤 博、瑛子

この度、40年来旧知の米国友人よりFF西東京を紹介され、お世話になることになりました。博は卒後5年間米国で内科臨床研修後、大学病院や都立病院で勤務してきました。瑛子は大学同期で、帰国後大学小児歯科で研修後、玉川学園で歯科を開業しました。博の趣味はスキー、バイオリン、茶道、旅行、ウインドサーフィンです。瑛子は読書、バイオリン、ピオラ、スキー、旅行、ウインドサーフィン、美術鑑賞、園芸です。



お知らせ

2018年度活動予定

・2月4日(日曜日)

西東京クラブ総会 11:30~14:30
町田ホテルヴィラ レストランシェ・ブルミエ

・5月14日~21日

トルコ・カンカヤクラブ受入
HC: 山本文 サブHC: 高垣幸子

・7月7日(土)

関東ブロック会議Mt.富士山梨クラブ主催

・7月末

会報第27号発行

・8月29日~9月5日

ドイツ・ハノーファークラブ渡航
AC: 山崎恵美子 サブAC: 宇梶淑恵

・10月14~15日

日本大会 愛媛クラブ主催
道後大和屋本館

・12月末

会報第28号発行

西東京クラブ ホームページ更新

クラブのホームページ (<http://ffw-tokyo.org/wp> 奥付け参照) を7月に更新しました。渡航・受入、行事日程、会報など会の最近の活動状況が分かるよう全面的に見直してあります。活動のモットー(タグライン)として「異文化を体験し、共通点を発見しよう」(原文「Experience Different Views, Discover Common Grounds」、FFI新規採用)をトップページに掲げております。なお、今春から変更となった

・交換(Exchange) → 交流(Journey)、
・ED(Exchange Director) →
HC(Host coordinator)、
AC(Ambassador coordinator)
を会報でも本号から用いています。



編集後記

会報の編集、編集者校正は主として戸ヶ崎満里さんと石井健二、レイアウトは中川貴文さん、の分担で当面進めますので宜しくお願いします。今年後半は、受入、渡航のほか、関東ブロック会議、日本大会、それにFFI発足40周年兼町田市表彰祝賀会の開催など行事が盛り沢山で、会報も内容豊富なものになりました。中川さん、今秋めでたくゴールインされましたよし、心からお祝い申し上げます。国際情勢、不安定ななか、草の根の国際交流、国際親善が果たす意義は大きいと思います。来年も力を合わせ楽しく、頑張りましょう。(石井健二)

今話題の？バリ島で結婚式をしました、例によってデザイン担当の中川です。今回の目玉は米国、グレイダーオーランド渡航です！とても日差しが眩しそうで、きっとホストの方々も負けないくらい明るい人たちなんだろうなあというのが写真から伝わって来ました。私も皆様のように明るい家庭を築きたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



発行日：平成29年12月 第26号
発行者：ザ・フレンドシップフォース・西東京

町田市つくし野4-29-17
Tel/Fax 042-796-6797

ホームページ
担当：西村千織、石井健二
<http://ffw-tokyo.org/wp>